

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	医療的ケア	合計時間数	62
到達目標 (授業の目的・ねらい)	・医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア実施の基礎</li> <li>・喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・経管栄養(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・演習</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
医療的ケア実施の基礎  医療的ケア	4	1. 喀痰吸引等制度(社会福祉士及び介護福祉士法の改正) ①医療制度とその変遷 ②社会福祉士及び介護福祉士法の改正 ③改正法による喀痰吸引等制度の概要  2. 医療的ケアと喀痰吸引等の背景 ①喀痰吸引等研修 ②実務者研修における医療的ケアの学習  3. 医行為について ①医行為とは(法的な理解) ②チーム医療 ③医療の倫理について  4. その他の制度 ①社会福祉士及び介護福祉士法以外の法制度	

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	医療的ケア	合計時間数	62
到達目標 (授業の目的・ねらい)	・医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア実施の基礎</li> <li>・喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・経管栄養(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・演習</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
医療的ケア実施の基礎  安全な療養生活	4	<p>1. 安全に喀痰吸引や経管栄養の安全な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①安全に喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性</li> <li>②リスクマネジメントの考え方と枠組み</li> <li>③ヒヤリハット・アクシデント報告</li> <li>④ヒヤリハット・アクシデント報告書の書き方</li> </ul> <p>2. 救急蘇生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①救急蘇生法がなぜ必要か？</li> <li>②主に市民が行うための一次救命処置(心肺蘇生法など)</li> <li>③救急蘇生</li> <li>④救急蘇生法の実際</li> <li>⑤AED</li> </ul>	

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	医療的ケア	合計時間数	62
到達目標 (授業の目的・ねらい)	・医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア実施の基礎</li> <li>・喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・経管栄養(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・演習</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
医療的ケア実施の基礎 清潔保持と感染予防	3	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染予防               <ol style="list-style-type: none"> <li>①感染とは</li> <li>②地域集団、施設・組織としての予防策</li> <li>③手洗い、うがい感染予防の基本</li> <li>④流水に勝る消毒剤はない</li> <li>⑤消毒剤を用いて手指消毒を行う方法</li> <li>⑥うがい</li> </ol> </li> <li>2. 介護職の感染予防               <ol style="list-style-type: none"> <li>①介護職の健康管理</li> <li>②ワクチン接種</li> <li>③使い捨て手袋やガウン等の使用</li> <li>④介護職に切り傷がある場合や風邪の場合</li> </ol> </li> <li>3. 療養環境の清潔、消毒法               <ol style="list-style-type: none"> <li>①居室、トイレ、キッチン</li> <li>②鉄駅、退役、痰や唾液、嘔吐物、排泄物(便や尿)のついたもの</li> <li>③医療廃棄物の処理</li> </ol> </li> <li>4. 消毒と滅菌               <ol style="list-style-type: none"> <li>①消毒と滅菌について</li> <li>②消毒剤の使い方と留意点</li> </ol> </li> </ol>	

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	医療的ケア	合計時間数	62
到達目標 (授業の目的・ねらい)	・医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア実施の基礎</li> <li>・喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・経管栄養(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・演習</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
医療的ケア実施の基礎  健康状態の把握	3	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体・精神の健康               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 平常状態について</li> </ol> </li> <li>2. 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 意欲、顔貌、顔色、食欲、行動ほか</li> <li>② バイタルサイン(vital signs)</li> </ol> </li> <li>3. 急変状態について               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 急変状態(意識状態、呼吸、脈拍、痛み、苦痛など)</li> <li>② 急変時の対応と事前準備(報告、連絡網、応急手当、記録)</li> </ol> </li> </ol>	

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	医療的ケア		合計時間数	62
到達目標 (授業の目的・ねらい)	・医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。			
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア実施の基礎</li> <li>・喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・経管栄養(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・演習</li> </ul>			
科目の細目名	授業時間数	講義内容		
喀痰吸引  高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論	6	1. 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 ①呼吸のしくみとはたらき ②いつもと違う呼吸状態 ③喀痰吸引とは ④人口呼吸器と吸引 ⑤子どもの吸引について ⑥吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 ⑦呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して) ⑧喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認 ⑨急変・事故発生時の対応と事前対策		

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	医療的ケア	合計時間数	62
到達目標 (授業の目的・ねらい)	・医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア実施の基礎</li> <li>・喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・経管栄養(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・演習</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
喀痰吸引  高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説	12	1. 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 ①喀痰吸引で用いる器具・器材ちそのしくみ、清潔の保持 ②吸引の技術と留意点 ③喀痰吸引に伴うケア ④報告および記録	

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	医療的ケア	合計時間数	62
到達目標 (授業の目的・ねらい)	・医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア実施の基礎</li> <li>・喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・経管栄養(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・演習</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
経管栄養 高齢者および障害児・ 者の経管栄養概論	6	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者および障害児・者の経管</li> <li>① 消化器系のしくみとはたらき</li> <li>② 消化・吸収とよくある消化器の症状</li> <li>③ 経管栄養とは</li> <li>④ 注入する内容に関する知識</li> <li>⑤ 経管栄養実施上の留意点</li> <li>⑥ 子どもの経管栄養について</li> <li>⑦ 経管栄養に関係する感染と予防</li> <li>⑧ 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意</li> <li>⑨ 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認</li> <li>⑩ 急変・事故発生時の対応と事前対策</li> </ol>	

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	医療的ケア		合計時間数	62
到達目標 (授業の目的・ねらい)	・医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。			
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア実施の基礎</li> <li>・喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・経管栄養(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・演習</li> </ul>			
科目の細目名	授業時間数	講義内容		
<p>経管栄養</p> <p>高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説</p>	12	<p>1. 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説</p> <p>①経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持</p> <p>②経管栄養の技術と留意点</p> <p>③経管栄養に必要なケア</p> <p>④報告および記録</p>		



# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	医療的ケア	合計時間数	62
到達目標 (授業の目的・ねらい)	・医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア実施の基礎</li> <li>・喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・経管栄養(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・演習</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
演習 喀痰吸引のケア実施の手引き	6	<p>①口腔内および鼻腔内(各5回以上)</p> <p>【step 1:実施準備】 吸引に関する医師等の指示の確認を行い、必要物品を準備する。</p> <p>【step 2:ケア実施】 吸引について利用者に説明し、吸引を適切かつ安全に実施する。</p> <p>【step 3:報告】 吸引実施後の利用者の状態を看護職に報告する。</p> <p>【step 4:片づけ・物品管理】 吸引瓶や吸引器の後片づけを行う。</p> <p>【step 5:記録】 吸引の実施について、その内容を記録する。</p> <p>②気管カニューレ内部(5回以上)</p> <p>【step 1:実施準備】 吸引に関する医師等の指示の確認を行い、必要物品を準備する。</p> <p>【step 2:ケア実施】 吸引について利用者に説明し、吸引を適切かつ安全に実施する。</p> <p>【step 3:報告】 吸引実施後の利用者の状態を看護師に報告する。</p> <p>【step 4:片づけ・物品管理】 吸引瓶や吸引器の後片づけを行う。</p> <p>【step 5:記録】 吸引の実施について、その内容を記録する。</p>	

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	医療的ケア	合計時間数	62
到達目標 (授業の目的・ねらい)	・医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア実施の基礎</li> <li>・喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・経管栄養(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・演習</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
経管栄養のケア実施の手引き	4	<p>①胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養(5回以上)</p> <p>【step 1:実施準備】 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養に関する医師等の指示の確認を行い、必要物品を準備する。</p> <p>【step 2:ケア実施】 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養について、利用者に説明をし適切かつ安全に実施する。</p> <p>【step 3:報告】 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養実施後の利用者の状態を看護職に報告する。</p> <p>【step 4:片づけ】 注入終了後、速やかに後片づけを行う。</p> <p>【step 5:記録】 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養の実施について、その内容を記録する。</p> <p>②経鼻経管栄養(5回以上)</p> <p>【step 1:実施準備】 経鼻経管栄養に関する医師等の指示の確認を行い、必要物品を準備する。</p> <p>【step 2:ケア実施】 経鼻経管栄養について、利用者に説明をし適切かつ安全に実施する。</p> <p>【step 3:報告】 経鼻経管栄養実施後の利用者の状態を看護職に報告する。</p> <p>【step 4:片づけ】 注入終了後、速やかに後片づけを行う。</p> <p>【step 5:記録】 経鼻経管栄養の実施について、その内容を記録する。</p>	

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	医療的ケア	合計時間数	62
到達目標 (授業の目的・ねらい)	・医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア実施の基礎</li> <li>・喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・経管栄養(基礎的知識・実施手順)</li> <li>・演習</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
救急蘇生法の手引き	2	<p>①救急蘇生法(1回以上)</p> <p>【step 1:発見】 心臓や呼吸が止まってしまった人を助けるために、心身の構えができる。</p> <p>【step 2:反応の確認】 傷病者の反応を確認できる。</p> <p>【step 3:救助体制の確保】 救助体制を整えるために応援を求めることができる。</p> <p>【step 4:呼吸の確認】 呼吸の確認ができ心肺蘇生の必要性を判断できる。</p> <p>【step 5:胸骨圧迫を行う】 呼吸がない場合は、基本的な峽谷圧迫を実施できる。</p> <p>【step 6:気道を確保する】 基本的な気道確保ができる。</p> <p>【step 7:人口呼吸を行う】 基本的な人口呼吸ができる。</p> <p>②AED使用の手順</p> <p>【AEDの基本操作ができる】</p>	
【使用テキスト】 中央法規出版「介護職員等 実務者研修テキスト 第5巻		【評価方法】 科目別小テストに対し、A=90点以上、B=80点以上C=70点以上、D=69点以下の4段階にて評価し、C以上を合格とする。	